

- ・巻頭コラム (杉浦 良)
- ・お知らせ (青年長期ボランティア、実習、新メンバー加入他)
- ・太陽と緑の会国府作業所新築、其他工事記録帳 (木内 昭)
- ・青年長期ボランティア自己紹介
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

# かわら版

2007年4月 119号

—太陽光発電—

杉浦 良

徳島市国府町南岩延の太陽と緑の会旧館屋根で、平成10年3月5日から稼動した、京セラ製多結晶シリコン8枚パネル、最大出力1.08kwの太陽光発電システム(イオン環境財団より100万円の助成を頂くことで設置)が、導入した最初のモデルです。平成12年9月5日に、シリコンパネル28枚を、運営費をやりくりするなかで追加設置し、最大出力5.14kwとしました。本館で使う約半分の電気をこのシステムで作

だしていたわけですが、平成17年2月27日午前5時前に本館1階入口付近より出火、全焼することで、この太陽光発電システムは命を終えました。幸いにも(株)京セラさんのお陰で、10年間保証の付いた太陽光発電システムは、平成18年2月22日、見事に復活することが出来ました。本当に有難いことです。多結晶シリコン36枚パネル、最大出力5.22kwの新しい太陽光発電システムです。火災に遭遇する前までは、使用電



太陽と緑の会事務局新館のソーラーシステム

新館電気使用量の約8割を太陽光で発電

力の半分を発電できた太陽光発電システムも、防犯防火対策としての夜間照明や、24時間作動中の防犯カメラシステム、暑さ対策としての強制換気システム用ファンなどを設置したため、皆様のご支援で復活できた新館は、前館より多くの電気を使うことになりました（エアコンなしでなるべく快適に夏を過ごす対策を考え、同じ規模数の建物と比較すれば、圧倒的に優れた省エネ省電力タイプですが）。そこで前々から考えていた、もう一基太陽光発電システムを付け、新館で使う電気エネルギーを、ほぼ屋根に降り注ぐ太陽光でまかない、屋根瓦にもう一枚屋根を設けることで、夏の暑さ対策としても効果があるという、一石二鳥のアイデアを実行に移しました。最大出力 5.76 k w、32 枚の多結晶シリコンパネルを取り付け、合わせて 68 枚、最大出力 10.98 k w の太陽光発電システムが、平成 19 年 3 月末に完成しました。(株)四国機器さんのお陰でソーラー発電モニターを無料で付けていただき、発電量、消費電力、発電モニターグラフなども一目瞭然で、年間

月間の発電データなど、データ管理もできるようになりました。屋根に降り注ぐ太陽光で発電し、建物内部の電気器具をすぐに動かすことは、一番の省エネ対策です。遠く離れた発電所から送電線で運ぶ電気は、送電ロスと送電線の管理コストなど、莫大な無駄と費用がかかります。昼間電気を使う、店舗やオフィスなどに設置すれば、地球温暖化対策や安全性も含めると、費用対効果は随分高くなると思われます。これから実際どのような効果が現れるか、夏の暑さと電気代の変化を観察し、報告できればと思います。照明器具を1つ消すことでソーラー発電モニターの瞬時消費電力の数字が減ります。面白いもので、消費電力が減ると、どことなく嬉しい気持ちになります。大量生産、大量消費、大量破棄、大量リサイクル、大量エネルギー消費というリンクからの転換という大問題を、少しでも日常に取り組むことができた気がします。『太陽と緑の会』ですから、少々無理をしても『太陽』を使わないわけにはいきません。



太陽と緑の会月の宮共同生活棟 食堂にて週1回の定例生活ミーティング

# 太陽と緑の会国府作業所 新築、其他工事記録帳

木内 昭

九月二日～九月三十日 大工工事を組込んで西倉庫内外装を行う。本館大屋根へ母屋材加工して取付ける。樺木、野地板大屋根へ吊上げ加工取付。

九月七日 本館南足場移設する

九月十日 鉄工場で加工中の鉄骨材一部入荷

九月十五日 現場組立建方開始 職人五人延三十人

九月二十一日 本体建方終わり 中央部へ鉄骨階段取り付け

九月二十二日 一F 二F床コンクリート打設。ポンプ車を使用して連続打設。47.5 m<sup>3</sup>左官コテ磨き仕上。一F 二F共鉄製折アミ4m×2m敷込みす。

十月一日 本館下地壁合板外張付け。玄関木造組立、野地仕舞する。壁下地スーパーエアテックス張る。(建物外部全面に張る)

十月十四日 屋根野地板張り完了。その上にアスファルトルーフィング一重とゴム入りルーフィングを重ねて二重張りとした。南壁のサイディング厚16mm取付開始。東壁外壁下地合板張上げ、サイディング取付。

十月二十三日瓦吊上げ 瓦葺開始 二十五日完了。間仕切壁にスタイロホーム50 厚取付け

更衣室天井野縁組みPB取付け クロス張り。

十月二十八日 北東壁サンディング外壁材付け 外周アルミサッシ取付け、後よりガラス入れ

十一月一日～十日～十六日 外部壁サイディング取付け。北側軒天ケイカル板厚6mm張り。2F 休憩室、天井地組みPB張り。タタミ敷き床こしらえ。外壁

サイディング材継目コーキング人員延十名 サッシ廻り壁際バックアップ材取付。事務所内壁化粧板張り。

十一月十七日～二十二日 階段室壁間柱入れ、構造合板張り。玄関サッシ、シャッター組込み。

十一月二十三日 2F 休憩室内部仕上げる。2F WC タイルメイト板張り。2F WC 天井化粧板張り。2F WC ADサッシドア取付け。

十一月二十三日 外部横樋、堅樋取付

十一月三十日 1F 事務室壁、化粧板張り。

十二月一日 2F 手摺り取付け。小屋裏床コンパネ張り。

十二月五日 外部足場解体して倉庫へ引取り。

十二月六日 1F 2F 妻壁コンパネ張り。西隣 鉄製階段、手摺付き一組取付。桧段板十七枚取付共。2F 更衣室タナ取付け。

十二月十二日 2F 通路軸組コンパネ床板厚15mm張り。2F 天井クロス下地組み。1F 軒天井こしらえ。

十二月二十日 1F 2F WC内スクリーン取付け 金具共。

十二月二十日～二十八日 1F 2F床クッションフロア張り(スウェーデン製)(次号が最終回)

~~新築~~

大和 麻耶  
しんかんがオープンして1年になります  
私はしんかんであまりなれて  
いませんが、がんばると思います。  
います。



絵：大和さん

# お知らせ

## 青年長期ボランティア活動終了

2月28日 昨年4月より当会で青年長期ボランティアとして活動してきた萩原君が無事活動を終了し、3月1日～4日東京で開催の青年長期ボランティア総括研修にて10ヶ月間に渡る活動を締めくくりました。

萩原君は再建した太陽と緑の会新館のオープン直前に来所、オープンの準備作業から活動をスタートしました。主に新館での陳列準備・品出し・整理作業や、資源ごみ等の積み込み作業を、様々なハンディを持ったメンバーと共に取り組んでくれました。

2月26日には徳島市郊外にある太陽と緑の会月の宮生活棟にて、青年長期ボランティア萩原君の送別会を開催し、作業所メンバーと共に一年を振り返りました。

青年長期ボランティアとは、社団法人日本青年奉仕協会の柱となる青少年ボランティア活動推進支援プログラムで、全国の社会福祉施設、教育施設、その他各分野で活動するNPO団体などに、10代後半から30代前半の青年を半年から一年間フルタイムボランティアとして派遣する、というものです。

昭和42年に設立、長年ボランティア活動の発展に向けて先駆的に取り組んできた同会は、昭和54年に一年間ボランティア計画を開始、平成15年度より青年長期ボランティアとして衣替え、これまでに派遣した活動先は230ヶ所以上、派遣した青年は1100人以上に上ります。

太陽と緑の会では昭和63年度より受入を始め、萩原君で19人目となります。毎年様々な青年たちが当会に足跡を残して行ってくれました。萩原君の今後の活躍を願っています。

## 会議・イベント

2月25日、第3回とくしま環境ボランティア交流会が県内阿波市の阿波伊沢公民館で開催。1時間に渡る大久保谷川クリーンアップ、行政、学校、NPO、企業など各団体による事例発表、交流パーティを行いました。当会からは代表理事杉浦が実行委員として出席した他、当会作業所メンバーの田村正子さん、青年長期ボランティア萩原君も参加しました。

## 青年長期ボランティア活動開始

4月9日、平成19年度青年長期ボランティアの西田昌史さん(29才・鳥取県出身)が当会事務局に来所、1年間に渡るフルタイムボランティア活動を始めました。20代後半のボランティアは5年ぶりとなります。

月の宮共同生活棟にて様々なハンディを持ったメンバー、及びアルバイトの小野君と共同生活を行いながら、日中は1週間のうち半分はリサイクル作業所の新館、半分は月の宮作業所で精力的に活動してくれています。今後の活躍にご期待下さい(今号に自己紹介文があります)。



絵:田村正子さん

## 太陽光発電増設

最大出力 5.76kw、32 枚パネルの太陽光発電システムを新たに設置しました。既設分と合わせると、当会の太陽光発電システムは、最大出力 10.98kw、68 枚パネル、インバーター 2 基となります。

4 月下旬現在、晴天時には新館での消費電力を上回る発電量となっており、少しでもCO<sub>2</sub>の削減に貢献できれば、と思います（詳細は巻頭コラムを参照）。

## 実習

国府養護学校高等部 1 年生の松崎君（2 月 27 日～3 月 1 日）、中尾君、中山さん（3 月 13 日～16 日）の 3 名の職場体験実習を地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて行いました。トラックに乗っての不用品回収作業、古紙の積み込み及び搬入作業、新館での陳列準備作業などを体験して頂きました。

当会作業所で働く様々なハンディを持った先輩のメンバーさんにとっても刺激となり、いつもとは違う動きが見られました。3 人ともお疲れ様でした。

3 月 22 日～27 日 徳島市在住の佐藤さんが地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて体験実習を実施。

3 月 30 日、知的障害者収容更生施設おおぎ学園（徳島市）から当会作業所への実習生、大谷さん、田中さんが、実習を終了しました。

大谷さんは平成 7 年 5 月より実習を始めました。前半はリサイクル作業所にて、メンバーの岡田さんと衣料品の作業等に取り組み、後半は月の宮作業所での農作業、自転車磨きの作業を行いました。

田中さんは平成 9 年 7 月より実習を始め、リサイクル作業所にて衣料品の作業等に関わってくれました。2 人とも作業所に通ってくるのを楽しみにしていただけに残念です。長い間お疲れ様でした。

## 新メンバー加入

3 月 8 日、国府養護学校高等部を卒業した宇津君が、当会作業所のメンバーとして通所を始めました。毎日、片道 1 時間近くかけて自転車で通い、午前 9 時から午後 3 時まで衣料品の値札付け、不用品の回収などの作業に元気よく取り組んでくれています。

## 来所・見学

3 月 14 日 農林水産省中国四国農政局徳島農政事務所の清重さんが「農の福祉力」に関する事例収集のため、当会に来所。代表の杉浦が当会の運営する太陽と緑の会月の宮作業所における農作業の取り組みなどについてお話させて頂きました。

3 月 19 日 京都府の知的障害児施設白川学園の職員及び園生の皆さんが、四国八十八箇所参拝の途中、太陽と緑の会月の宮生活棟に来所、宿泊されました。平成 11 年 6 月に始まり、春、秋の年 2 回のペースで少しずつ刻んで歩き始めたこの札所巡りも終盤戦に入ったようです。今日の法定施設がおかれている状況を考えると、幾多の困難を引き受けながら長きに渡り継続されてきた職員の方には頭が下がる思いです。



新館での商品陳列準備

## 自己紹介 っぽい駄文

こんにちは、今年一年間ボランティアとして参加する西田昌文といたします。

年齢は29、血液型はマイペースのO型です。少し年はいってますがまだまだ現役です。

正直言いますと、私はこの一年間ボランティアをちょっとした人生の骨休みの一年のつもりと考えていました。

しかしこの「太陽と緑の会」でのボランティアとても骨休みとはいけそうにないことに気付きました。今のところ私の役割は朝から夕方までリサイクルショップで働くか月ノ宮で農作業等を行い、5人分晩御飯を毎日作る。送迎の運転をする…パートをしている子持ちのお母さんか、というくらいの忙しさです。ちょっと時間があると「明日の献立何にしよう？」と考えてしまいます。

今思えば鮎喰駅に着いたとき、言葉にできない予感がありました。あの時は鮎喰駅のチープさへの驚きだと思ったのですが、あれは、第六感でやばい信号を察知したのでしょうか。出発前、母に一年間ボランティアして骨休みすると告げたところ、母は「ボランティアなんて只だから馬車馬のようにこき使われるで」といい、私はそんなことはめったにないだろうと一笑にふしていたのですが…母さんあなたは正しかった…

「太陽と緑の会」に到着後、即座に放置自転車の回収に行くことになり、それにむかうダンプの車内、くだらない駄洒落を言い防災について熱く語るスタッフの話聞き流しながら、『どうやら予想していたのとだいぶ違うな。のんびり骨休みどこじゃねえ。これはがんばるしかない』と心機一転、決意しました。今までの経験を生かせるところは生かし、未経験のことは楽しみながら経験して糧にし、なるべく役立つ男になろうと。

幸いなことに周りの皆さんがとてもやさしく理解のある方々で、過ごし易い環境を作っていただいているのがすごくありがたいです。

「太陽と緑の会」に参加させていただいて二週間ほど経ちましたが、今までに体験したことのないことが多く、驚きと好奇心で日々てんやわんやです。おかげで飽きっぽい私にとっては飽きが来ることはなく、楽しい毎日が送れています。このまま一年間楽しく過ごせるよう、期待に答えられるようがんばっていくつもりです。

さて、私は徳島に住むのは生まれて初めてで、四国に来たことも数えるほどしかありません。正直徳島のイメージは阿波踊りと鳴門の渦巻きくらいでした。しかし徳島には全国に誇るものがありました。それは徳島ラーメンです。

私は鳥取生まれですが18歳から鹿児島で11年程暮らしました。九州と言う土地柄、ラーメンはかならずとんこつラーメンなのです！最初の3年くらいは「うまいうまい」と食べていた私も10年もいるといい加減飽きてしまい「とんこつベースじゃないラーメンが食べたい！」と切に願うようになりました。たまに実家に帰ったおり、醤油ラーメンを頼み、出てきたラーメンのスープが白濁してないことにホッとしていました。

そして徳島に来て徳島ラーメンがあると聞く、期待して食べ行きました。出て来たのはここでもやはりとんこつベース。正直またか、ここでもか俺はとんこつから逃げられないのかと落胆しました。しかし食べてみると美味い。とんこつでも新たな感じ。九州と四国の差とかしばらくラーメン食べてなかったとかそんなチャチなレベルじゃねえ。もっと根本的な差を感じたぜ、と感銘を受けました。どこがどう違うとか細かいところはよくわかりませんが、徳島ラーメン最高っす。車の運転の荒さとか道路状態の悪さ等徳島のマイナス点を吹き飛ばす感じですよ。徳島ラーメンがある限り、私は徳島を愛し続けることでしょ。

まあ長々といろいろ書きましたがこれから一年間がんばっていきたいと思います。なんととぞよろしくお願ひします。

2007年度青年長期ボランティア参加者  
西田昌文

# 体験ボランティア 2007 開催

この夏、3年ぶりに体験ボランティアが帰ってきます。

体験ボランティアは、様々なハンディを持ったメンバー、地元のボランティアとともに、太陽と緑の会が日常的に行っている、不用品・資源ゴミのリユース・リサイクル、無農薬農業などの活動を、ボランティアとして体験するプログラムです。

平成2年夏にワークキャンプとして開始、平成12年に体験ボランティアに衣替えし、毎年計15回の開催で250人が参加しましたが、火災の影響で休止していました。

宿泊もできますので遠方からの参加も可能です。過去の体験ボランティアについては、ホームページに写真などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

< 日 程 > 平成19年8月23日(木)～8月27日(月)  
(1日、2日の参加も可能です。事務局までご相談下さい)

< 開催場所 > NPO法人太陽と緑の会事務局  
(生活棟での共同自炊による無料宿泊も可能です)

< 定 員 > 10名

< 参加費 > 1000円(ボランティア保険料他)

< 参加資格 > 高校生以上で、当会の活動に興味のある方  
自分のことは自分でできる方

<主催・問い合わせ> NPO法人太陽と緑の会事務局  
徳島県徳島市国府町南岩延 107-1  
TEL 088-643-1054  
FAX 088-642-1054  
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp  
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>



新館での商品陳列準備



作業倉庫の片付け



# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2007年2月1日～2007年3月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付下さった皆様方

吉川、福澤、谷

当会郵便振替口座にお振込み頂いた方 (平成18年6月5日～平成19年4月23日)

西野、巻島、三好、都築、足立、丸山、竹條、山田、堺、滝倉、秋山、河村、檜本、榎本、後藤田、磯田、宮崎、中江、小池、本田、大谷、永口、河野、荻野、巻島、太田、杉田、芝、姫野、白根、足立、杉本、三代田、森、中村、三代田、北岡、三代田、佐藤

## 不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○KDD (株) AV徳島支店、為実、福田、長谷部、名賀石、住友、川人、黒田、塩津、近藤、浅川、浜、増田、奥田、宇野、飯田、鎌倉、三原、赤星、田辺、米沢、神崎、鈴木、三谷、神例、濱田、パソQ、城東子供クラブ、木村、川崎、吉岡、大黒、橋本、勢瀬谷、寺西、下田、斉木、長尾、松之内、内山、清水、稲原、梶井、永尾、吉村、谷口、中野、中央高校、平賀、西、今倉、県身体障害者連合会、岡本、藤本、徳島テクノスクール、井端、竹原、山崎、田中、須磨、宮原、谷井、なむなむ堂、福本、蔵本、中川、近藤谷合、井藤、渡辺、平野、松本、宇野、奥田、浜、浅川、塩津、森本、岸谷、松原、井上樽、高丸、藤井、大和、矢野、谷川、清川、山本、近藤、藤川、猪児、折上、新居、川崎福田、福島、大野、亀留、木内、牛島、西野、柳澤、藤岡、矢本、赤羽、後藤、平田、三上、瀬尾、エポック、吉田、清原、酒井、市田、岡田、萩原、鬼頭、杉田、青木、岩田、浜井、原崎、川上、室井、坂東塗装、谷、中村、山口、原田、豊田内科、吉岡、野村、眞鍋、谷井、沖、川西、久岡、武岡、田中、西内、威徳院、森田、高橋、港、自由同和会徳島本部、塩田、喜多法律事務所、加藤、木村、若槻、吉田、高畑、林田、桑村、くみ橋、小田、柳澤、西、山田○鳴門市○福島、村沢、久龍、増田、斉藤、多田、福井、川西、亀井○石井町○桑村、福島、白井、三木、坂本○上板町○長坂、加藤、美馬○板野町○山口、北原○小松島市○岩本、長楽、北村○阿南市○松永○松茂町○藤岡○北島町○忠津、木内、結城、大森、細井、安芸○藍住町○犬伏、黒川、黒岩、藍住西小学校、新居、阿部○石井町○荒川、板原○吉野川市○しま

## 不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○鎌田、川崎、青柳、蔭本、金内、森、小松、天羽、麻植、新川、原田、矢野、石山、植田、佐野工務店、生原、笹山、手塚、新居、黒田、柳澤、阿部、岩瀬、桂、立石、高橋、鹿児島、奥村、宇山、長尾商事、平良、北岡、早見、田村、新田、大城、吉岡、木村、松尾、西久、内海、原田、原、井内、佐藤、宮本、濱口、法土、渋谷、中川、生原、川田、岸本、大上、丸谷、川口、山下、森田、竹中、山城、久次米、正木、杉野、池上、尾上、山本、栗飯原、藁手、武田、雫、相原、近藤、美記、日進防疫、福澤、吉岡、大北、水田、奥野、塩津、東口、浅見、多田、吉村、稲実、酒巻、あわっこ作業所 (呉羽)、西岡、片山、川口、鳥海、磯野、片岡、田中、青木、藤本、野根、女性への暴力根絶をめざす徳島ネットワーク、山形、天野、宮本、内藤、長谷川、水原、河村、猪山、沖津、都留、椎野、和田、秋山、永峰、力安、谷、長谷部、坂東、吉村、杉田、栗谷、丸後、山崎、岩田、山口、元木、山下、松田、佐藤、津田、青木、長野、木村、片岡、田村、一宮、半田、鶴飼、友竹、横山、東、酒井、恒村、近久、勝浦、近藤、岡田、梅岡、山田、西野、井上、蔵本、金沢、伏谷、福田、山本、田中、杉野、犬伏、武田、中川、森川、秋田、松村、元木、小野、中野、谷、久次米、坂東、杉町、後藤、湯浅、平山、落合、重弘、山城、渡部、林、大西、松本、石川、久米川、安定、山田、駒井、藤江、杉本、平尾、森、森下、真木野、高橋、加藤、西山、宮内、内藤、黒田、和田、村上、濱田、腰高、柿原、赤澤、川尻、佐々木、美馬、藤吉、奥村、桂、林、野田福澤、田所、立石、小倉、木村、笠井、なむなむ堂、福田、松尾、浜田、池田、小渡、谷井、猪本、石川、友竹、中尾、大久保、秋田、生原、植田、増田、



立花、伊藤、漆原、正木、多田、友竹、篠原、近久、森本、斉藤、バーバラ・エイキンズ、阿部、天野、ポーナ・ロバート、平土、鈴木（株）ホワイトトリス、村瀬、流、手塚、岡、山城、播磨成松、笠谷、藤村、尾池、栗飯原、石井、益田、吉成、横永、島田、中野、大村、西崎島袋、栗谷、兼市、かもの園、白木、栗田、通、野藤、（有）元三不動産、岸田、谷川、清水、福沢、中東、板敷、先山、真木野、森住、中本、内海、半田○藍住町○大下、森、土井、木下、氏久、鍋島、山橋、田中、小林、上田、市原、片岡、上崎、大西、岡本、大寺、三輪、吉田、藤原、三好、岩佐、岡本、松田、山本、上野、河野、木村○石井町○久米、秋田、加藤、中川、児島、村本、笠井、以西、松浦、阿部、明石、檜原、藤本、井内、小田、田中、田岡、富山、佐藤、新森、住友、戎、桑原、安岡○吉野川市○井上、岡田、井原、浅野、多田、長谷部、戸田、長谷、大久保、曾川、中西、田中、森本、杉山、富澤、青木、高尾、工藤、森久○北島町○飯坂、中川、中尾、佐川、大島、生藤、谷口、岩木、石井○鳴門市○山本、森長、賀川、中、竹本、野村、藤川、吉田、市原、仲須、足田、福井○阿波市○武田、田中、笠井、西内、割石、西岡○阿南市○保田○美馬市○黒岩、（有）吉野川バラス○松茂町○森○板野町○信田、森本、稲垣、濱田○神山町○中谷、高田○上板町○湯浅、菊池○阿南市○佐野○三好市○井出○牟岐町○坂本○吉野町○長町○香川県○栗飯原○愛媛県○浜田○千葉県○中島○広島県○ほっとはうすのばら、松本

市民の皆様からご提供頂いた品物のうち5分の4は、品物としてのリユース、もしくは資源としてのリサイクルにつなげ、有効に活用させて頂いております。

なお入念なチェックを行ってはおりますが、万一、お名前の記入漏れ、誤字・脱字等ございましたら、事務局までお申し付け頂ければ幸いです。

## 太陽と緑の会月の宮作業所 無農薬農業



太陽と緑の会月の宮作業所 約1000坪の畑にて（富開さん、太谷さん、大木さん、笥さん）

## 編集後記～イバラの道？～

4月24日、火災により全焼した事務局・作業所兼店舗の建物が再建して一年を迎えることができました。これも、不用品を提供して下さった方、リユース品を再利用して下さった方、再建後も寄付・会費という形で資金面のサポートを続けて下さった方、皆様方のご支援のおかげです。

当会は運営費のうち公的資金による収入が13.7パーセント、寄付金・会費・民間助成が6.6パーセントであり、残りの約8割は自主事業、すなわち不用品のリユース事業による収入で支えています。

建物再建後の一年は、新しい事業スタイルの確立に重点を置きました。事業を軌道に乗せ、事業収入を捻出するために、火災前の従来のやり方を払拭し、民間企業の手法や考え方も一部に取り入れ、試行錯誤を続けてきました。

NPO事業に効率性という考え方はなじまないのでは、という見方もありますが、市民・行政・企業の協力で得られた資金は無駄なく効率的に使い、より多くの成果につなげていくことが重要だと思います。

昨年10月に本格的に動き始めた障害者自立支援法により、障害者福祉の世界もダイナミックに変わろうとしています。当会は2箇所の障害者地域共同作業所を運営しております。しかし新法の施行に伴い、地域活動

支援センターに移行しなければ従来の補助金を維持できず減額になるということになったため、リサイクル作業所についてはセンターへ移行しました。

障害者福祉の世界では、太陽と緑の会のように公的資金に依存せず自前で資金をたたき出していくという運営方法は、ある意味イバラの道とも言えます。

メンバーのフォローアップと収益の確保を両立していく必要があります。経営は不安定、財政は脆弱、解散の危機と背中合わせの毎日です。専任職員には最低限の賃金しか支払えず、相応の覚悟がなければ持続は難しいため、なかなか定着しません。

ではなぜあえてイバラの道を進むのかと言えば、好んで苦難の道を歩んでいるわけではなく、ハンディをもったメンバーにとって大切なことは何かという原点に立つと、イバラの道しか残っていないのです。

公的資金による安定した運営を目指すのであれば、個別給付事業への移行という道があります。しかし、行政や法律による縛りは厳しくなり、従来のような柔軟な運営は難しくなるかもしれません。理事構成や職員体制も一新され、まったく別の施設に変貌してしまう可能性もあります。またこれまで作業所を支えてきた地域の方々との関係の変化も懸念されます。

理想と現実のバランスは、本当に難しいです。(文責:小山)

### 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

### 発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1  
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)  
TEL・FAX 088-642-1054  
(不用品リユース・地域活動支援センター)

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL [t-midori@jeans.ocn.ne.jp](mailto:t-midori@jeans.ocn.ne.jp)

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。